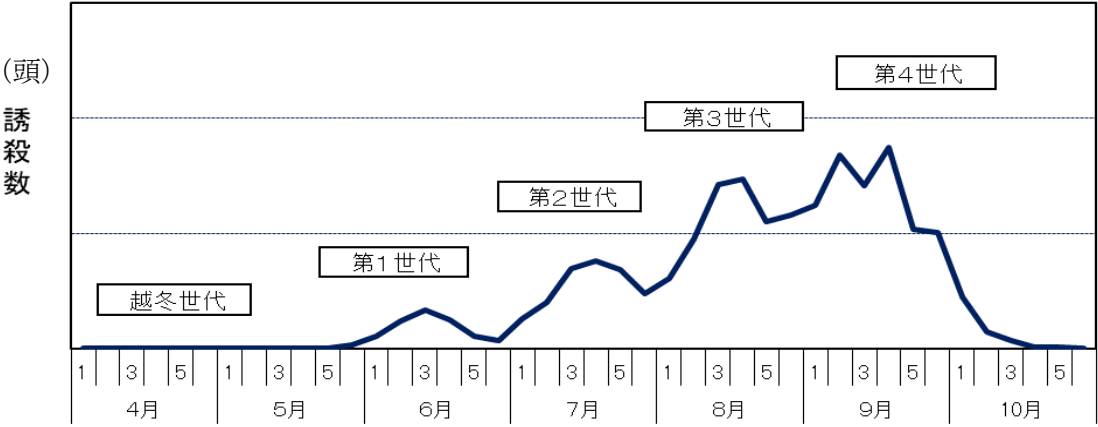


キンモンホソガのフェロモントラップ誘殺消長（令和7年（2025年）調査）

病虫害防除部

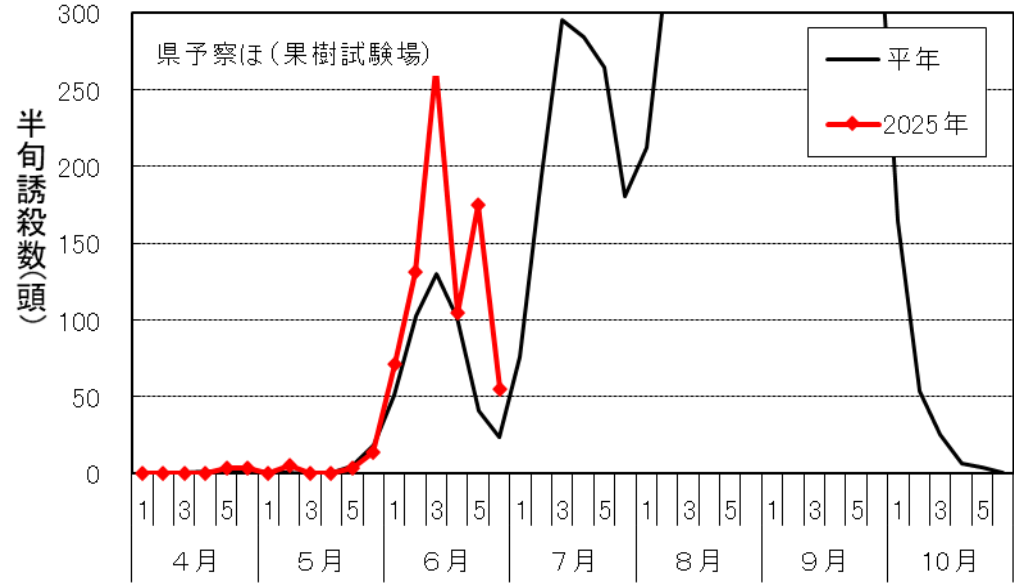
過去10年間の消長模式図（果樹試験場内 県予察ほ）



【発生生態と防除のポイント】

- ・年4～5回発生する。
- ・越冬世代成虫は4月中旬頃、第1世代成虫は5月下旬～6月中旬、第2世代成虫は7月上旬中旬、第3世代成虫は8月上旬～下旬、第4世代成虫は9月以降に発生する。
- ・第3世代成虫以降は発生が重なり合い、世代の区切りがはっきりしない。
- ・第2、3世代成虫の発生初期にあたる7月上旬、8月上旬が重要な防除時期である。

○県予察ほ（須坂市 果樹試験場）



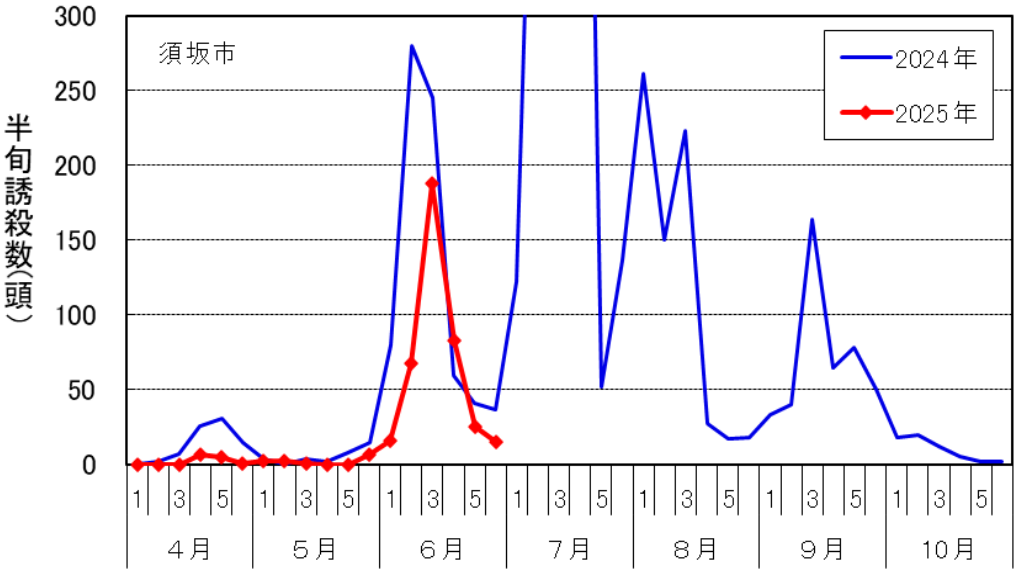
【調査地点】（標高約350m）

- ・須坂市（果樹試験場りんごほ場）
- ・平年は2015年～2024年の平均値

【コメント】

- ・発生の消長はほぼ平年と同様。第1世代の発生ピークは6月第3半旬で以降減少している。
- ・消長が平年並であれば、7月に入ると誘殺数は急激に増加してくる可能性がある。

○須坂市（病虫害防除部調査）



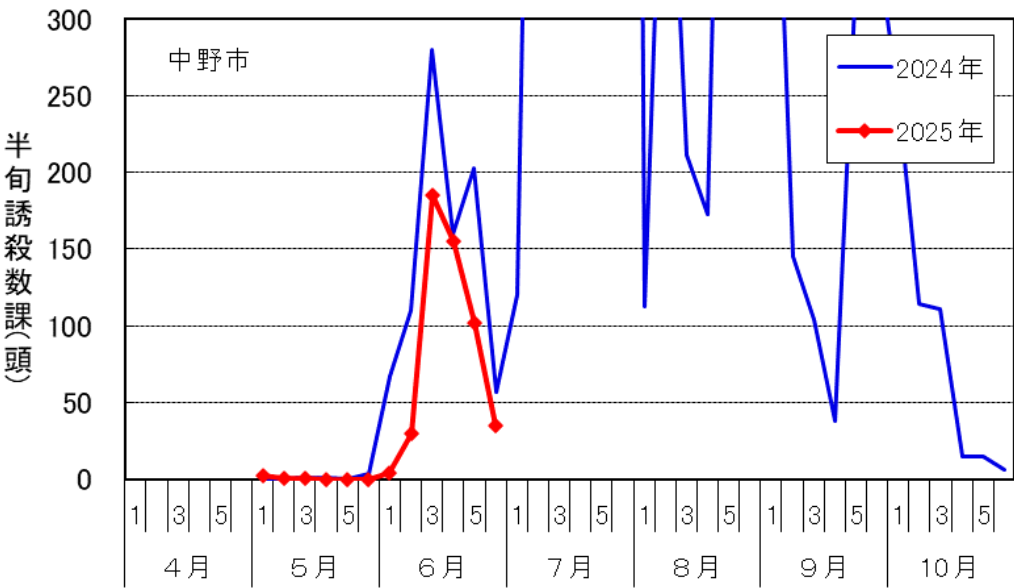
【調査地点】（標高約370m）

- ・須坂市（現地りんごほ場）
- ・2023年にはほ場変更したため、平年値なし。

【コメント】

- ・県予察ほ同様、発生消長はほぼ平年と同じ。6月第3半旬にピークを迎え、その後減少している。
- ・こちらも消長が平年並であれば、7月に入り再び急増することが考えられる。

○中野市（病虫害発生予察ほ）



【調査地点】（標高約450m）

- ・中野市（りんごほ場）
- ・2023年にはほ場変更したため、平年値なし。

【コメント】

- ・中野市の発生予察ほも、他2か所と同様、6月半ばにピークを迎え、その後減少している。
- ・誘殺数は須坂同様昨年より少ないが、消長が平年並であれば、7月に入り再び急増する可能性がある。